

タイトル

日本とバングラデシュ どっちも ()

実践場所	愛知県	豊田高等学校	実践者	石谷泰枝
対象	高校2年生		時間数	4時間
担当教科	国語	実践教科	現代文	
ねらい	1 バングラデシュという国を知り、日本との異質性、同質性を考える。 2 バングラデシュを、教育・環境・貧困の観点から見て、バングラデシュの環境への提言と自分ができる3つのエコ活動の宣言をする。 3 豊かさを物質面、精神面から考え、日本とバングラデシュの生活の中に溶け込んでいる宗教を感じる。 4 自分とクラスメートの違いを理解し、受け入れる。			
実践内容	回	プログラム	備考	
	1	バングラデシュという国を知る ・地図上の位置と国旗の確認をした後、パワーポイントを見て環境・貧困・教育問題について、異同をシートにまとめる。	・地図・国旗・対比用紙 ・パワーポイント	
	2	バングラデシュの環境への提言と自分ができるエコ活動 ・1回目の対比表の共有の後、個人の意見をグループでまとめて発表 ・貧困問題は環境問題、自分にできる地球に優しい行動を考える。	個人→グループ共有 →全体シェア・A3用紙	
	3	日本とバングラデシュどっちも() 1 アイスブレーキング(運命のくじびき) (10分) ・大統領の引いたくじで、富んだ国・中くらいの国・貧しい国が決まり、その国に生まれた偶然で貧富の差が決まることを確認する。 2 豊かさランキング (15分) ・まず個人で選び、次にグループコンセンサスで1枚を選び、選んだ理由をグループごとに発表する。 ・豊かさには、物質的豊かさと精神的豊かさがあることを確認する。 3 小講義 (5分) ・精神的豊かさがあっても、貧困の現状から抜け出せない現実があり、それに対してどういう援助がなされているかを、マイクロクレジット、パブリ、エクマツラ、愛知ホスピタルの例をあげて説明をする。 ・国の将来イメージを国民が持ち、それを実現していくことで現実が創られることを、JICAの例をあげて伝える。	・5人×8班を作り大統領を1名選出 ・くじ、ポップコーン ・インタビュー ・フォトランゲージ6枚 ・グループ員は国民となる	
	4	4 フィードバック (15分) 1 自己紹介ゲーム「4つの私1つはウソ」 (10分) 2 ロールプレイとデモンストレーション「アサーティブに断る」 (15分) ・アサーティブの「誠実」「率直」「対等」「自己責任」という4つの柱に基づいて、相手と向き合う。相手の気持ちを考えながら断り、その結果を自己の責任として受け止める。 3 あなたの良いところプレゼント (10分) ・自己信頼・他己信頼が平和につながる。 4 小講義「ジョ・ハリの窓」と題字の()を埋める (5分) 5 全体シェアリングとまとめ (10分)	・B4用紙 ・マジック ・脚本「映画に誘われた時」 ・付箋 (他の国民へのメッセージ) ・板書 ・ふりかえり用紙	
成果	1 見知らぬ国であったバングラデシュに対して親しみを感じ、将来途上国への関わりを書いてくれた生徒がいた。 2 図書部の広報もあって、図書館展示に沢山の生徒や先生方が来てくださった。目で見るとバングラボックスの効果は大きかった。 3 国際交流は、自分を好きになること、人を好きになることから始まることを理解し、教室の雰囲気や和らいできた。実習を楽しむ雰囲気がとても良く、授業の1部を使ってスムーズにできた。 4 COP10に向けて、生徒自身で環境問題について調べられ、また市の環境講座の講師として石谷が発表した。			
課題	人との交流が苦手な生徒に対して、今回はグループのやりとりを見て教師の感想を伝えるだけに留めたが、これからも時々人間関係トレーニングを入れて、その場に柔らかに介入していく必要性を感じた。			
備考	*愛知県高等学校国際教育研究会(2月9日)でも発表します。			

はじめに

今年の夏に、教師海外研修に応募したのは、バングラデシュが世界最貧国といわれていること、「教育」「環境」「貧困」の3つのキーワードが、私の大切にしている考え方と結びついたからだった。また、ノーベル平和賞を取られたユヌスさんの「グラミン銀行」がどのようなものか、実際に自分の目で見たかった。「何が起こるかわからない」という言葉で送り出されながら、この体験を、生徒達にぜひ伝えたい、そんな思いで出かけた10日間だった。

以下に、授業で取り上げたり、バングラデシュに関わるイベントとして行ったものを順に述べていきたい。

1. バングラデシュという国 (パワーポイント) について

〔パワーポイントに入る前に〕

- ・世界地図上でバングラデシュの位置を聞いたところ、インドの近くまでは出たが、正解者はいなかった。独立前は、東パキスタンであり、ガンジス川側にあることを伝えた。



- ・国旗の三択をさせたが、バングラデシュの国旗を選ぶことができた。日本との国旗の関係を言われることもあるが、赤は独立のために流された血の色であり、緑は木々や植物の緑であることを伝えた。



(パラオ)



(バングラデシュ)



(トルコ)

〔アクティビティ〕

- ・教師海外研修のパワーポイントを見せて、バングラデシュの衣食住・宗教について考えた。また、宗教が対立を生むものではなく、平和を祈るものであることを伝え、修学旅行の広島につなげた。
- ・バングラデシュと日本の違いを、教育・環境・貧困の面でまとめる。(個人作業でシートに行う)

4人グループでA3用紙に書いて、リーダー発表。

バングラデシュについて		()年 男・女	
1.	バングラデシュという国について、理解が深まりましたか	とても	やや ぶつう あまり 全然
2.	日本とバングラデシュを比較して同じ所、違う所を探してみましょう。		
		〔環境問題〕	〔貧困問題〕
同じ所			
違う所			

1. とても(16) やや(12) ぶつう(8)

2. 日本とバングラデシュ 同じ所、違う所

- ・日本に比べて貧しく、貧富の差が激しい
- ・日本とバングラの関係・食文化に興味
- ・環境に優しいことを考えている
- ・日本とバングラの関係・食文化に興味
- ・環境に優しいことを考えている
- ・その国の文化や人をいたわる精神
- ・エピソードは申し訳ないと思った。
- ・国を知らないで、ピンとこなかった。
- ・日本の様々な支援・教育、人々の生活、文化
- ・注射針が野問題・国旗が日本と似ている点
- ・学校について説明がわかりやすかった。
- ・良い所・悪い所・改善すべき点がわかった。

2. バングラデシュへの環境問題についての提言と、自分のできる3つのエコ活動の発表

環境問題についての提言は、個人の意見をグループがまとめ、リーダーが発表。

自分のできるエコ活動については、時間があれば一人一人発表、なければグループでまとめて発表。

- ・LOVE ワゴンを増産して、収集を徹底してやる。(名前はLOVE・LOVEワゴン)
- ・狭いところはリキシャでゴミ集めをするのはいいが、集積場のゴミも住民参加で片付ける。
地域でクリーン活動の呼びかけ。
- ・ゴミの分別をする。ゴミ箱の分別、リサイクルの徹底・生ゴミで火力発電をする。・他国の支援。特にお金の面で。
- ・生ゴミはあまり出さないような料理の工夫、家にはコンポストを置き、肥料にする。
- ・学生ボランティアを募る。たとえば、修学旅行でクリーン活動をする。・ゴミを分別できる機械を作る。
- ・麻薬の流通を防ぐために、医療廃棄物の処理を徹底する。・先進国の援助で浄水場をつくる。
- ・ゴミ処理に対してルールを決める。例えば分別の仕方等を決めて都市型発信で農村まで浸透するようにする。
- ・家庭に置けなければ、大きな建物には浄水器を置いて、ペットボトルの使用を少なくする。

自分のできること

- ・クーラー28度、窓をあける ・ポイ捨てをやめ、ゴミを拾う、ゴミを捨てる人に指導する。・ゴミの分別。
 - ・省エネ(節電・節水)・ろうそくを使う。・ビニール袋を断る。・要らない物をあげる。・蛇口をしめる。
 - ・マイ箸・マイバック・自転車を使う、・ごはん残さない、食べ物粗末にしない。
 - ・LED電球、・里山の保全、温暖化の危険を伝える。
 - ・壊れたら修理をする。・余分を買わない。・長く使う。・すぐに使う物だけを買う。・消費電力の低い物を使う。
 - ・エコの歌を広める、・ものを大切に使う、・コンセントを外す、・残り湯を洗濯に使う、・物を最後まで使う
 - ・裏紙を使う、・エコカーを使う、・頼りになる情報の発信、・冷蔵庫しめる ・リサイクル、4R(reduce ,reuse, recycle, refuse)
- *ベスト3: クーラー28度、ゴミの分別、エコバッグ

3. 図書館展示 (バングラデシュ展 9/28~10/8)

JICAよりバングラボックスをお借りし図書館で展示をしていただき、またバングラデシュやインドネシアの服の体験コーナーも設け、試着した生徒達の写真を撮ってデジカメで見せた。また、バングラ〇×クイズ(石谷がバングラデシュで採取した55の問題から20に厳選して作ったもの)をやり、正解者から抽選で、リトルワールドで購入したものをプレゼントした。18点が最高点であり、先生方も参加して下さった。

初日80名他、連日来てくれて、何百人と来てくれた計算になる。先生方も、来てくださり、中でも「ブルガ」は、社会の授業で習ったからと、人気であった。最終日は、バングラティーとマンゴーゼリーで生徒達と乾杯した。

図書部の先生方が、展示を工夫して下さり、石谷のバングラのカラー写真も展示していただいた。

また、生徒昇降口に案内を貼っていただいたり、図書館便りに紹介して下さるなど、楽しい展示期間となり、本当にお世話になった。



「あれが、ブルガよ！」



「これがクミン？」



事務室にもデモンストレーション



試着～

バンガラ ×クイズ ()年()組 名前()

- 1、バンガラでは牛肉を食べない。
- 2、小学校では体育や図工はない。
- 3、普通の家ではトイレでは紙を使わない。
- 4、食べる時は、左手を使う。
- 5、夕食の時間は夜の 11 時である。
- 6、バンガラの葬式は水葬である。
- 7、イスラム教の神は、アッラーである。
- 8、アジアで最初にノーベル賞をもらったのは、ベンガル文化のタゴールである。
- 9、2月 22 日は、ベンガル語の祝日である。
- 10、イスラム教では、お酒を飲むことを禁止しているが、お菓子に入れることも禁止である。
- 11、英語からベンガル語になっている言葉は多い。
- 12、バンガラの国の動物は、ベンガルタイガー、国の花はスイレン、国の果物はカタールジャックフルーツである。
- 13、ジャムナ橋(日本の円借款で作られた橋)開通は、1998 年 6 月 23 日である
- 14、イスラム今日が、一夫多妻制を取るの、男性が貧しい家庭の女性を救うためである。
- 15、エルサレムは、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、の聖地である。
- 16、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の中で、偶像崇拝をしないのは、ユダヤ教である。
- 17、バンガラの小学校修了率は 55%である。
- 18、バンガラの平均寿命は 60 歳である。
- 19、バンガラでは、小学校から英語を教えている。
- 20、日本がバングラデッシュを独立国として承認したのは、1972 年 2 月 10 日である。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
×			×		×				
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
					×		×		

*正解者の中から抽選で、プレゼントを差し上げます。 石谷

点

4-1. 日本とバングラデシュどっちも〔 〕1限目

(アイスブレイキング) 運命のくじびき (10分)

当日は、ポップコーンの代わりに荷物の空間を埋める丸い発泡スチロールを透明な袋に詰めて、エネルギーとか資源だとかお金だと説明して渡した。大きな国については、誰の目から見ても大きく見えるように、赤い袋に発泡スチロールを沢山詰めて渡した。大統領にくじを引いてもらった。

〔生徒感想〕

- ・不平等・くじびきで運命とかが決まってしまうことが、一瞬で自分をだめにすることと現実に似ていると思った。
- ・ネーミングセンスが素晴らしいと思う。・運命ですべてが決まるんだと思った。・不思議な感じがした。・運は重要。
- ・運命がこのように簡単に決まってしまうのはむごい。・ドキドキした。・富豪だったからちょっと良かったと思う。
- ・楽しかった。・何ともない。・運命的なものを感じた。・嵐的なものを感じた。・を感じた。・名前で重みを感じた。
- ・わからない。・善意を感じた。・このように決まるのは嫌だと思った。・いろいろ・よかった・ワクワクした。
- ・かわいそうな感じ。・普通・とても遺憾に思う。・貧しくて悲しかった。・ちょうど良かった。・まあ良かった。

〔石谷コメント〕

・生徒は、最貧国でなかったら、「まあ良い」、「ちょうど良い」のように欲があまりなかった。でも、富豪になったグループは「良かった」と書き、最貧国は「貧しくて悲しかった」と書いた。また、運命ですべてが決まることを「むごい」と書いたり、「このように決まるのは嫌だ」と書いた生徒もいた。「運が重要だ」と書いた生徒もいたが、概ねくじ引きを楽しんでいた。

(豊かさランキング)・自分の国のなりたい姿をイメージする (15分)

まず個人で選び、次に国民会議 (コンセンサス) で1枚を選び、選んだ理由をグループごとに発表した。



順に左から マリ・エチオピア・ガテマラ
ハイチ・アルゼンチン・日本
(「地球家族」ピーター・メンツェル TOTO 出版)
日本3 便利・物が豊富・生活しやすい
アルゼンチン2 物と建物がいい、家族の仲がよい
ガテマラ1 人間関係がいい
マリ1 秘密基地みたい、ワクワクする
エチオピア1 文明社会から離れ、豊かな自然の中で

〔石谷コメント〕

日本が安全で便利な生活がしやすいことから、各国から日本に出稼ぎに来ている現状を伝え、生徒が選ぶのも無理はないことを伝えた。しかし物質文明の均質性や閉塞性に疲れ、自然の中で家族とゆったりと過ごしたいと思う気持ちも良くわかることを伝え、アルゼンチンのように、物もほどほどで、家族が仲が良い姿も良いかもしれないと伝えた。物質的豊かさと精神的豊かさのどちらが欠けてもバランスが悪くなること、偶然豊かな日本に生まれた私たちが偶然貧しい国に生まれた人達の支援をするのは、地球全体から見れば隣人として当たり前なことでは？と疑問を投げかけた。

〔生徒感想〕

- ・意外・どの国も明るい世界があるのだが、日本は孤立している感じ。・いろいろな国のことが分かって良かった。
- ・国別で豊かさが変わるのはおかしい。・自分たちのことは自分たちで決められるのがいい。・難しかった。
- ・格差社会はどうして生まれたのかと思う。・全て決めるのではなく、一部国民が決めるのが良い。・ だと思った。
- ・日本が豊かであることが分かった。・人とのつながりが大事だと思った。・貧しくても楽しければいいと思う。
- ・日本以外の国もいいなと思った。日本という国を自分は違う国の人間として遠い距離で見て、物にあふれているなと思った。・物がたくさんある国とあまりない国があった。・物の豊かさだけでなく心の豊かさもあるんだと思った。
- ・日本と他国では、物の多さや家の構造などだいぶ違うと思った。・日本が一番裕福である。・アルゼンチンはよい。
- ・国の将来を国民が決めるのはよい。・一人一人違う意見があって楽しかった。・国民全員で決めるのが平等だと思った。

4-2 日本とバングラデシュどっちも〔 〕2限目

〔自己紹介ゲーム〕「4つの私1つはウソ」・国民同士が仲良くなる（10分）

紙を4等分して、そこに自分の紹介を4つ書くがそのうちの1つはウソを書くことを伝える。

例 石谷「私は、演歌が好きです、でもエグザイルも好きです、そして、いつかギリシアに行きたいと思っています。

自然の中でのんびりするのも大好きです。さあ、ウソはどれでしょう」

国民同士で、順に自己紹介しあったが、中には自分のことについてなかなか書けない生徒もいた。その生徒には3つの中で1つウソを書くように言うと、「昨日コンビニに3回行った」などと言うことを入れていた。早く終わったグループには、「ラーメンが好きならば、麺の太さはどのくらい？ スープは何味？ どのラーメンが好き？」というように話を広げていくように伝えた。

〔生徒感想〕

- ・自分のことを言うのが大変ですが、ウソを入れるのも大変。・自分自身を紹介できた。・おもしろい・自分を探るような感じがして楽しかった。・いつもより考えなければならなかった。・あまり紹介は変わらない。・色々な子と仲良くなれていい。・正直になれる。・楽しかった。・緊張もしなくて楽しいと思ったが、いつもはやりたくないと思う。・意外とわかってくれていて良かった。・色々考えることができた。・わからない。・面倒だった。・よくわかってもらえる。
- ・ちょっと苦しかった。・少し内向的になる。・難しかったでしょう。・違った見方で自分について考えた。・普通・あっさりしている。・ありえないと思った。・新しいやり方だった。・よく考えてつくれた。

〔小講義〕1「アサーティブの考え方」（5～15分）

相手の気持ちを考えながら、「誠実」「率直」「対等」「自己責任」という4つの柱に基づいて相手と向き合うことを伝え、例をあげた。時間が取れたクラスでは、人間関係を作っていく上で、時に断らなければならない場合のロールプレイをやってみた。

例「ホラー映画に誘われたのだけれど、ホラーが嫌いな場合の断り方」。

ロールプレイをやった生徒の感想としては、「難しかった。よかった。これから気をつけたい。普段は全く意識せずに、何でも「いいよ」と言っていたが、それはいけないんだと思った。大切。相手の気持ちを考えるのは難しい。普通。相手のことがよく分かった。少し勉強になって、次回から使おうと思った。相手の気持ちを考えるのも大切。勉強になった。うまく断れたと思う。」であった。講義だけをした生徒の感想は、「相手の心を知った。どんなことでも言い合ったり伝えることは大切だと思った。人間性を理解しようとしたところが良かった。大切なことなのに、自分は忘れがちだと思う。新鮮な感じがした。めったにないと思うので、いいと思った。難しい。良かった。大切だと思う！できた、特に「対等」「率直」「誠実」というのは当たり前。どう思われる

かとかちよっと不安になった。わからない。普通に向きあえた。楽しかった。良いことだと思うし、大事にしたい。超簡単ではなかった。相手について良く考えた。楽しかった。自分だけではなく、相手のことを考えることが必要だと思いました。)だった。これからも、アサーティブの考え方を伝えていく必要性を感じた。

(あなたの良いところプレゼント)(10分)

自分以外のメンバーに、その人の良いところを紙に書いてプレゼントする。良いこと、嬉しくなるようなことを書く。

〔生徒感想〕

- ・良かった・嬉しかった・自分の見えない部分がわかった。・普通・純粹に嬉しく思う。・おもしろかった。
- ・よくわからない・できなかった・雅紀.com 並に嬉しかった。・普通・とても良いプレゼントでした。・めちゃ嬉しかった。・そういう風に思われているんだと思って嬉しかった。・その通りだと思った。そうありがたい、いつでも誰にでも。・いつも話をしない子からもらって嬉しかった。・相手のことをよく考えないとできない。・ためになった。
- ・相手の良いところを探すのは難しかった。

(小講義) 2 「ジョ・ハリの窓」(5分)

「自分も相手も知っているところ」, 「自分は知っているが相手が知らないところ(これを伝えるのが自己開示)」, 「相手は知っているが、自分は知らないところ(これがフィードバック)」, 「自分も相手も知らないところ」の説明をし、人と関わることで、自分も相手も知らない自分がわかったりして、自分をもっと知ることができること、人と関わることは素晴らしいことを伝えた。

〔グループでの話し合いについての生徒感想と石谷コメント〕

「よく話し合いができた」と「普通」に分かれた。大統領が、リーダーシップを発揮して国民の意見を良く引き出しているところは、楽しく話はずんでいた。2回の実習で、リーダーが替わったところがあったが、「自分の人生では自分が主人公だけれど、他人の人生では脇役であること」、「リーダーとサポーターと両方出来て、初めてその場で自分の役割を柔軟取れるから、ぜひ自分も勇気をもってリーダーをやってほしいこと」を伝えた。「楽しかったです、またやりたい」「楽しかった。みんなのことがより分かることができた。話し合うのはすごく勉強になった」「それでも地球は回っている」「自分の意見をみんなしっかりとと言えるグループだと感じた」「話ってすばらしい」「北朝鮮は世界の不協和音」とその他の欄に書いてくれた子もいて、彼らがまず「自分を好きになること」から「人を自分のことのように好き」になれば、その目が本当の国際交流へ向いてくれることを祈って、実習を終わった。

日本とバングラデシュどっちも〔 〕には、(それぞれ良い所がある、国、人情がある、好き、豊か、普通、国名、好き、「ン」がつく、わからない、良い)と入った。外国を向く目を自分や身近な友人に向けることで、生徒達が「自分も人も好き」という温かい人間関係を築いてくれることが、まず国際交流の第一歩かなと思っている。

*環境講座講師(豊田市 12/19) パワーポイントとO×クイズ、高校生のエコ意識、JICA 資料の説明をしました☆

